

1 鳥取市のすがた

(1) 背景

日本一の鳥取大砂丘を有する「鳥取市」は、中国山地から日本海へ北流する千代川流域にひらけた鳥取平野に、古く城下町として生まれ、江戸時代は、鳥取藩池田家 32 万石の城下町として栄えた。明治22年10月1日市制を施行し、以来県都として、また、山陰地方東部の中核都市として、政治、経済、文化の中心となり発展をしてきた。

大正時代の千代川の度重なる氾濫、昭和18年の鳥取大地震、昭和27年の鳥取大火など幾度となく大災害に見舞われたが、その都度粘り強い市民の精神力と努力により立ち直ってきた。

その後、都市の近代化に積極的に取り組み、昭和53年に鳥取駅高架事業が、昭和55年には鳥取駅前土地地区画整理事業が完成し、鳥取駅周辺の整備を行ったほか、平成11年3月には、産・学と調和のとれた住環境である鳥取新都市（ついのニュータウン）開発整備事業が完了した。

交通網の整備については、昭和42年の鳥取空港完成、平成6年12月の智頭線開通により首都圏や近畿圏とのアクセスが短縮されたほか、高速自動車道である鳥取自動車道（県内区間）が平成22年3月に開通し、さらに平成25年3月に鳥取自動車道が全線開通したことにより鳥取市は待望の高速道路時代を迎えた。これにより、広域的な地域間の連携交流の活性化と雇用の拡大に取り組んでいる。また、平成22年10月に山陰海岸ジオパークが世界ジオパークに認定されたこと、同年11月にガイナレ鳥取が、山陰初のJリーグチームとしてJ2に昇格したこと、平成24年4月に世界初の全天候型砂像展示専門美術館「鳥取砂丘 砂の美術館」を開設したことなどを背景に、本市の知名度が高まるさまざまな取り組みを進めている。

産業の振興については、地域産業の振興や企業誘致に積極的に取り組んでおり、電気機械工業を中心とした製造業が盛んであるほか、二十世紀梨や松葉ガニ、砂丘らっきょうなどの特産品を産する農林業の振興にも積極的に取り組んでいる。

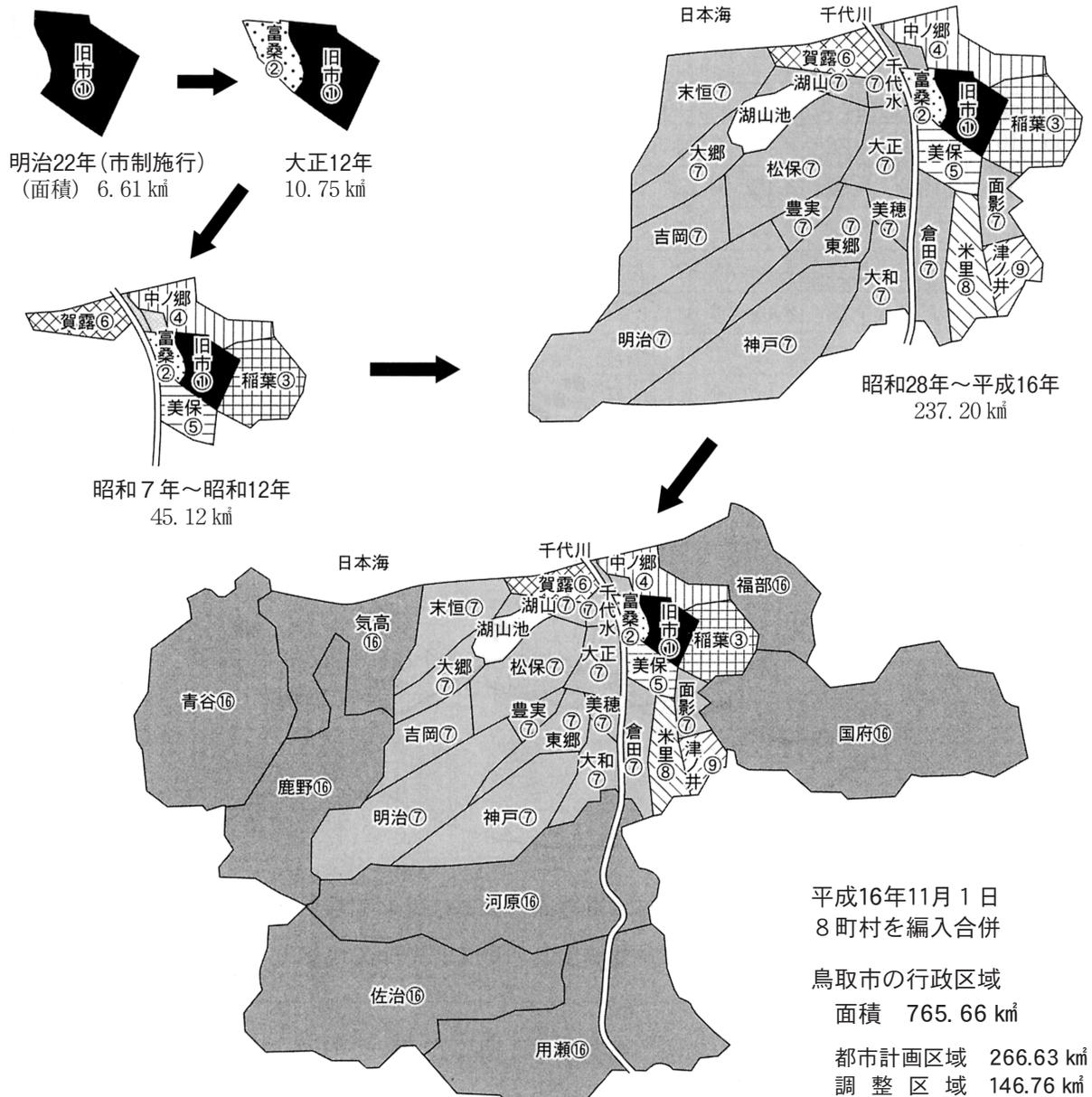
さらに、高齢化社会への対応として社会福祉施設等の整備・充実を図り、文化施設として、世界のおもちゃなどを展示した「わらべ館」および鳥取市歴史博物館「やまびこ館」を整備したほか、教育面においては、平成13年4月環境をテーマとした鳥取環境大学が公設民営方式により開学した。

平成16年11月1日には鳥取県東部の6町2村との市町村合併により、山陰地方で初めて20万人都市へ、さらに平成17年10月1日には、特例市となった。

平成23年3月に第9次鳥取市総合計画を策定し、まちづくりの目標である「人が輝き まちがきらめく 快適・環境都市 鳥取」の実現に向け、山陰の発展をリードする中核都市としてさらなる発展を目指している。

時代	西暦	年号	主 な で き ご と
明 治	1889	明治22	鳥取市政施行
	1896	29	鳥取40連隊設置
	1907	40	仁風閣建築（皇太子を迎える）
	1910	43	口佐治村、中佐治村、上佐治村が合併し、佐治村誕生
	1912	45	山陰鉄道 京都～出雲間（現在の山陰本線）全通
大 正	1912	大正元	千代川氾濫による大洪水
	1915	4	上水道給水開始
	1918	7	千代川氾濫による大洪水
	1921	10	鳥取高等農業学校（現在の鳥取大学）開校
	1923	12	千代川氾濫による大洪水
	1925	14	駅前に温泉湧出
昭 和	1928	昭和3	服部村、塩見村が合併し、福部村誕生
	1930	5	千代川の大改修完成
	1943	18	鳥取大地震（M. 7.3 死者1,025人）
	1949	24	鳥取大学発足
	1952	27	鳥取大火災（焼失面積1.6k㎡）
	1953	28	15村合併により鳥取市の行政基盤固まる（人口63千人から99千人へ）
	"	"	青谷町、日置谷村、中郷村、勝部村が町村合併し、青谷町誕生
	1955	30	鳥取砂丘天然記念物に指定
	"	"	河原町、散岐村、西郷村、国英村、八上村が町村合併し、河原町誕生
	"	"	宝木村、酒津村、瑞穂村、逢坂村、浜村町が合併し、気高町誕生
	"	"	用瀬町、社村、大村が合併し、用瀬町誕生
	"	"	鹿野町、勝谷村、小鷲河村が合併し、鹿野町誕生
	1957	32	大成村、宇倍野村が合併し、国府町誕生
	1958	33	鳥取砂丘国立公園に指定
	1964	39	市庁舎完成、鉦路市と姉妹都市提携（3月18日）
	1967	42	鳥取空港完成
	1972	47	姫路市と姉妹都市提携（3月8日）
	1978	53	鳥取駅高架化完成
	1983	58	ついのニュータウン事業実施基本計画の認可（9月8日）
1985	60	鳥取南バイパス、駅南広場完成、ジェット機就航、第40回国体（わかとり）開催	
1986	61	鳥取港一部供用開始	
1988	63	人口14万人突破（7月23日）	
"	"	「流しびなの館」竣工	
平 成	1989	平成元	市制施行100年、'89鳥取・世界おもちゃ博覧会開催、市第2庁舎開庁
	1990	2	韓国・清州市と姉妹都市提携（8月30日）、鳥取港全面供用開始
	1991	3	鳥取砂丘の草原化対策に着手（除草実験・松の抜去）
	1992	4	老人保健施設「やすらぎ」、「新産業創造センター」竣工
	1993	5	あおや郷土館オープン
	1994	6	さじアストロパーク天文台オープン
	"	"	お城山展望台「河原城」オープン
	"	"	因幡万葉歴史館オープン
	1995	7	市立病院の新築移転、わらべ館の開館（7月7日）
	"	"	岩国市姉妹都市提携（10月13日）
	1997	9	「学習交流センター鳥取」竣工
	"	"	「東部広域リファーレンいなば」、「鳥取県東部環境クリーンセンター」竣工
	1998	10	第22回全国育樹祭、とっとり出会いの森で開催
	"	"	水道局庁舎新築移転
	1999	11	鳥取新都市（ついのニュータウン）開発整備事業完了
	2000	12	鳥取市歴史博物館「やまびこ館」の開館（7月1日）
	"	"	農村型CATV（いなばびよんびよんネット）開局（7月1日）
	"	"	人口15万人突破（10月1日国勢調査）
	2001	13	鳥取環境大学開学（4月1日）
	"	"	障害者福祉センター「さわやか会館」開館（5月23日）
	"	"	青谷上寺地遺跡展示館オープン
	"	"	ドイツ・ハーナウ市と姉妹都市提携（11月20日）
	2002	14	ワールドカップサッカー・エクアドル代表チームがキャンプ
	"	"	国民文化祭・とっとり2002開催（10月11日）
	"	"	男女共同参画センター「輝（き）なんせ鳥取」オープン（10月6日）
	2003	15	個人情報保護制度スタート（4月1日）
	"	"	市民活動推進センター「アクティブとっとり」オープン（7月13日）
	2004	16	国府町、福部村、河原町、用瀬町、佐治村、気高町、鹿野町及び青谷町を編入合併（11月1日）
	"	"	市駅南庁舎開庁
	2005	17	駅南庁舎に市中央図書館が移転開館
	"	"	特例市に移行
	"	"	郡山市姉妹都市提携（11月25日）
	2006	18	白兔と河原の2ヶ所の「道の駅」同時オープン
	"	"	鳥取市の木「サザンカ」・花「らっきょうの花」・市民歌を制定（11月1日）
	2007	19	鳥取市の鳥「オオルリ」を制定（10月1日）
	2008	20	山陰海岸が「日本ジオパーク」に認定
	2009	21	「2009鳥取・因幡の祭典」のオープニングイベント「世界砂像フェスティバル」を開催
	"	"	市制施行120周年・合併5周年を記念し、新しい市民憲章を制定（10月1日）
	2010	22	鳥取自動車道「河原IC～鳥取IC」開通（3月）
	"	"	山陰海岸が「世界ジオパーク」に認定（10月）
"	"	江山浄水場完成、全面供用開始（12月）	
2011	23	第31回全国豊か豊かな海づくり大会開催（10月）	
"	"	殿ダム完成（11月）	
2012	24	鳥取環境大学公立大学法人化（4月）	
"	"	鳥取砂丘「砂の美術館」（常設設備）開設（4月）	
"	"	鳥取市庁舎整備に関する住民投票を実施（5月）	
2013	25	鳥取自動車道全線開通（3月）	
"	"	第30回全国都市緑化とっとりフェア「水と緑のオアシスとっとり2013」開催（9月）	
"	"	山陰道鳥取西道路「鳥取IC～鳥取西IC」開通（12月）	
2014	26	山陰近畿自動車道「馳山バイパス」開通（3月）	
"	"	鳥取空港東京～鳥取5便化決定（3月）	

(2) 鳥取市のおいたち



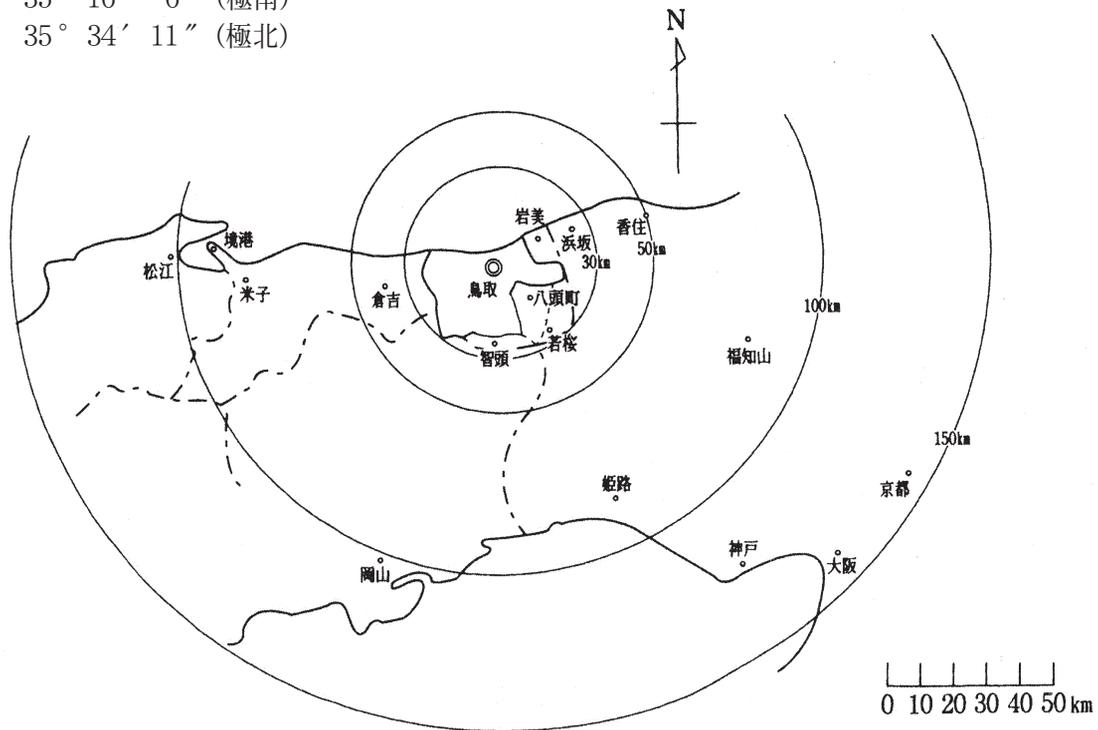
番号	年月日	面積 (km ²)	備考
①	明治22. 10. 1	6.61	市制施行
②	大正12. 5. 10	10.75	富桑村編入
③	昭和7. 4. 1	21.82	稲葉村編入
④	" 8. 4. 1	34.82	中ノ郷村編入
⑤	" 8. 10. 1	40.11	美保村編入
⑥	" 12. 2. 15	45.12	賀露村編入
⑦	" 28. 7. 1	219.44	神戸村、大和村、美穂村、大正村、東郷村、豊実村、明治村、吉岡村、大郷村、末恒村、湖山村、松保村、千代水村、面影村、倉田村編入
⑧	" 30. 7. 20	227.39	米里村編入
⑨	" 38. 4. 22	237.25	津ノ井村編入
⑩	" 51. 12. 1	237.29	河原町と境界変更
⑪	" 59. 11. 1	237.28	国府町と境界変更
⑫	平成元. 11. 10	237.01	官報公告により面積値修正 (国土地理院「全国都道府県市町村別面積調」)
⑬	" 2. 7. 27	237.06	公有水面埋立
⑭	" 2. 11. 2	237.09	公有水面埋立
⑮	" 9. 7. 1	237.20	公有水面埋立
⑯	" 16. 11. 1	765.66	国府町、福部村、河原町、用瀬町、佐治村、気高町、鹿野町、青谷町編入

(3) 地 勢 ・ 気 象

(ア) 位 置

東経 134° 26′ 37″ (極東)
 133° 56′ 56″ (極西)
 北緯 35° 16′ 6″ (極南)
 35° 34′ 11″ (極北)

鳥取市の位置図

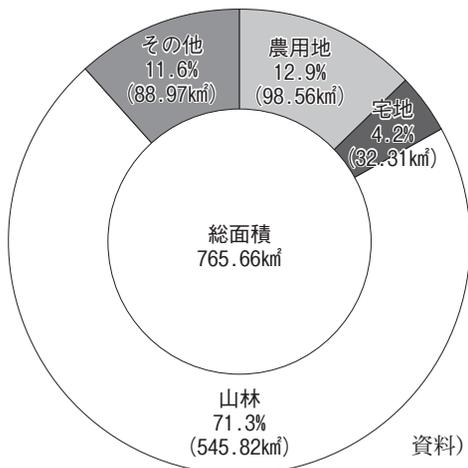


鳥取市は、鳥取県の東北部に位置し、北は日本海に面し、東は岩美町および一部兵庫県、西は湯梨浜町および三朝町、南は八頭町、智頭町および一部岡山県と接し、県庁所在都市として鳥取県東部広域圏の中心をなしている。

昭和47年に山陽新幹線の開通した岡山、姫路からは100 km、神戸、大阪、京都からは150kmの圏域にある。

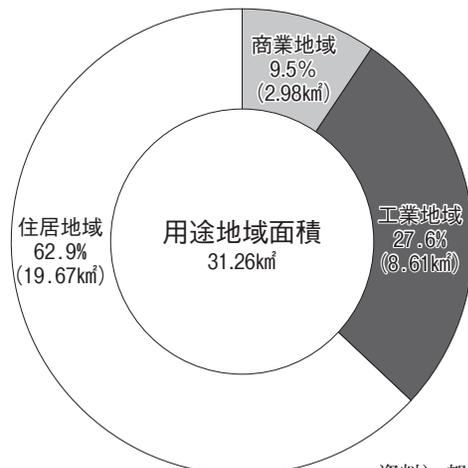
(イ) 面 積

ア 土地利用 (平成26年4月1日)



資料) 固定資産税課
林務水産課

イ 用途地域 (平成26年4月1日)



資料) 都市企画課

(ウ) 気 象

月別気象の状況 上段 平成25年
下段 1981年～2010年の平年値

要素		全年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温 (°C)	平均	15.5	3.7	4.5	9.4	12.4	18.1	22.9	27.8	28.1	22.9	18.6	11.4	6.0
		14.9	4.0	4.4	7.5	13.0	17.7	21.7	25.7	27.0	22.6	16.7	11.6	6.8
	日最高 平均	20.5	7.7	8.3	15.1	18.0	24.3	27.9	32.9	33.6	28.5	23.3	16.1	9.7
		19.7	7.7	8.5	12.4	18.7	23.3	26.6	30.4	32.2	27.4	22.0	16.4	11.0
	日最低 平均	11.1	0.4	1.2	3.4	6.5	12.3	19.0	23.9	23.9	18.4	14.5	7.3	2.6
		10.7	0.8	0.7	2.8	7.5	12.5	17.6	22.1	22.9	18.7	12.3	7.3	3.1
日照時間 (時間)	1842.0	74.1	67.2	157.8	178.4	251.0	157.2	216.0	215.6	196.2	125.9	127.3	75.3	
	1663.2	70.2	79.5	124.3	177.3	197.4	158.2	163.0	206.8	139.9	148.5	108.8	89.5	
降水量 (mm)	2048.0	142.0	119.5	57.0	80.5	39.5	105.5	129.0	264.0	394.5	320.0	171.0	225.5	
	1914.0	202.0	159.8	141.9	108.6	130.6	152.1	200.9	116.6	204.0	144.1	159.4	194.0	

資料) 鳥取地方気象台 (観測地点: 鳥取市吉方)

注1) 平成25年2月に、観測機器の整備工事に伴う観測休止期間が含まれています。

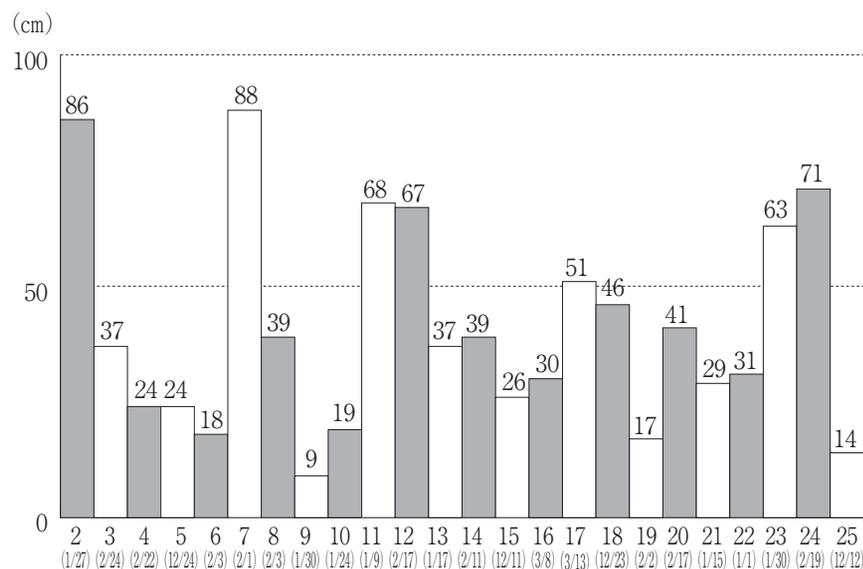
このため、表中の `、` の記号の付いた値は準正常値 (期間内の資料の一部が欠けているが、許容する資料数を満たす値) です。

年次別気象の状況

年次	平均海面 気圧 (hPa)	気温 (°C)			湿度 (%)		風速 (m/s)		降水量 (mm)	日照時間 (時間)
		平均			平均	最小	平均	最大		
		平均	最高	最低						
平成21年	1,014.8	15.0	19.9	10.8	73	8	2.9	17.4	1,851.5	1,589.0
22	1,015.4	15.6	20.3	11.4	72	14	3.1	15.1	1,830.5	1,717.4
23	1,015.4	15.0	19.8	11.0	74	14	2.9	13.3	2,375.5	1,603.9
24	1,014.9	14.9	19.7	10.8	74	14	3.1	19.5	2,281.0	1,725.5
25	1,015.0	15.5	20.5	11.1	72	12	3.3	17.9	2,048.0	1,842.0

資料) 鳥取地方気象台 (観測地点: 鳥取市吉方)

最深積雪量の推移 (前年10月から当年4月)



資料) 鳥取地方気象台 (観測地点: 鳥取市吉方)

鳥取の天気日数 (平成25年)

快晴	20日
晴	166日
曇	179日
雨	137日
雪	61日

資料) 鳥取地方気象台 (観測地点: 鳥取市吉方)

注1: 快晴は日平均雲量が1.5未満の日数

注2: 晴は日平均雲量が1.5以上8.5未満の日数

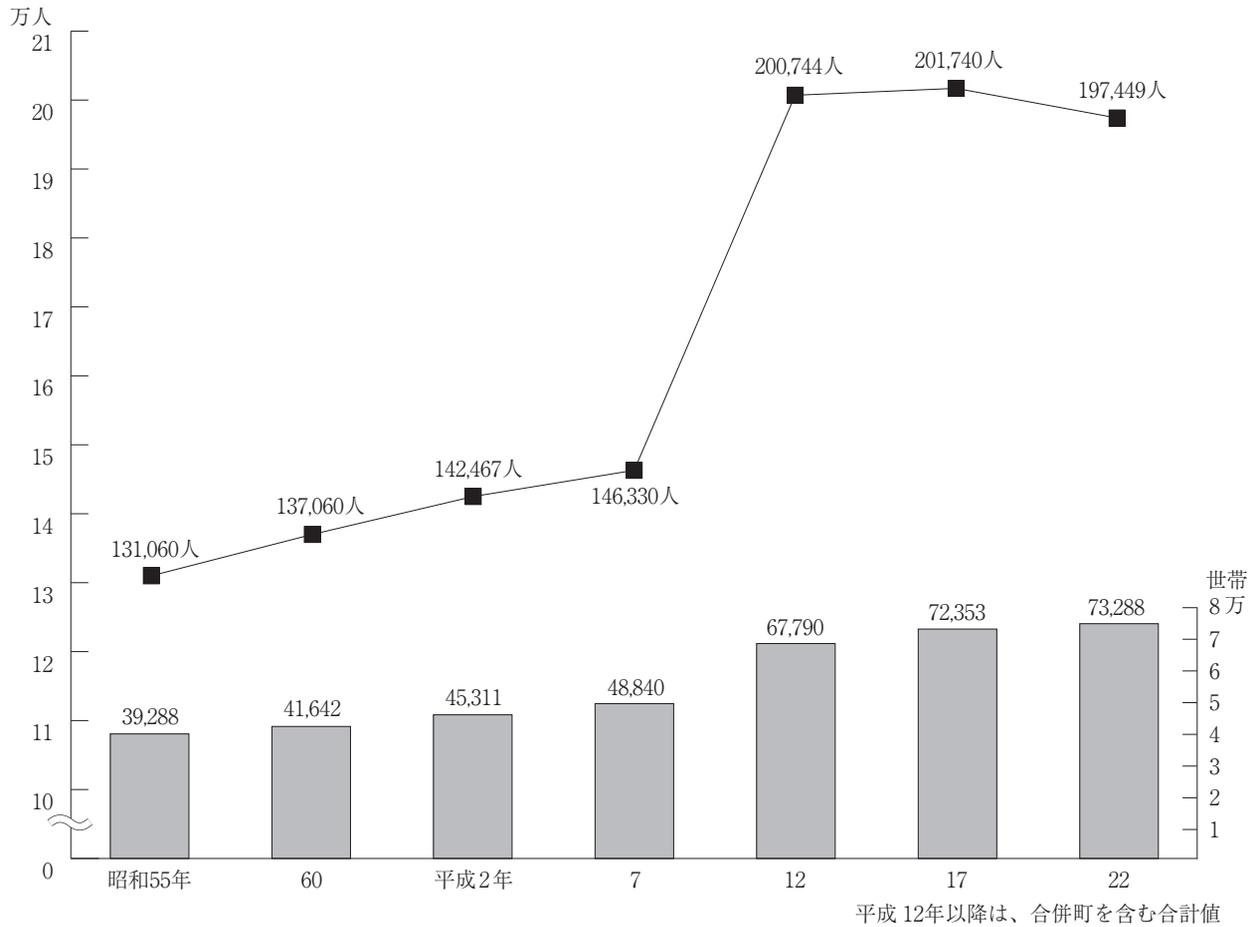
注3: 曇は日平均雲量が8.5以上の日数
注4: 曇の日数には雨や雪の日数が含まれる場合があります

注5: 雨は日降水量1.0mm以上の日数

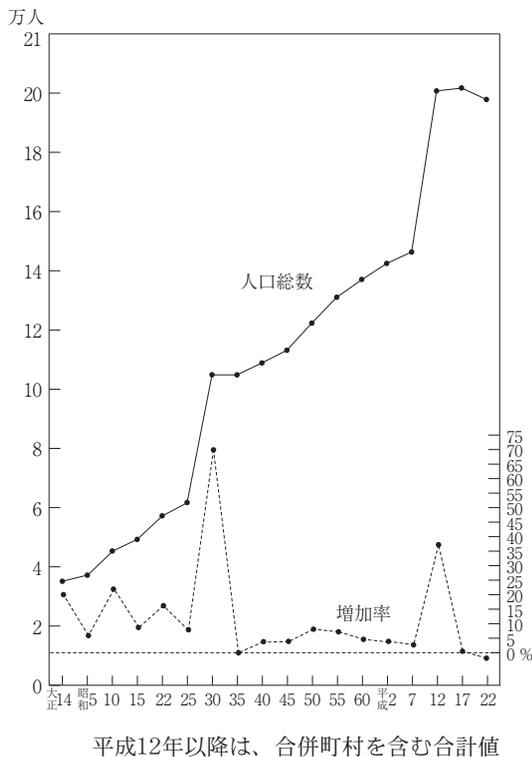
注6: 雪は前年10月から当年4月の期間に雪を観測した日数

(4) 人口・世帯数（年次別）

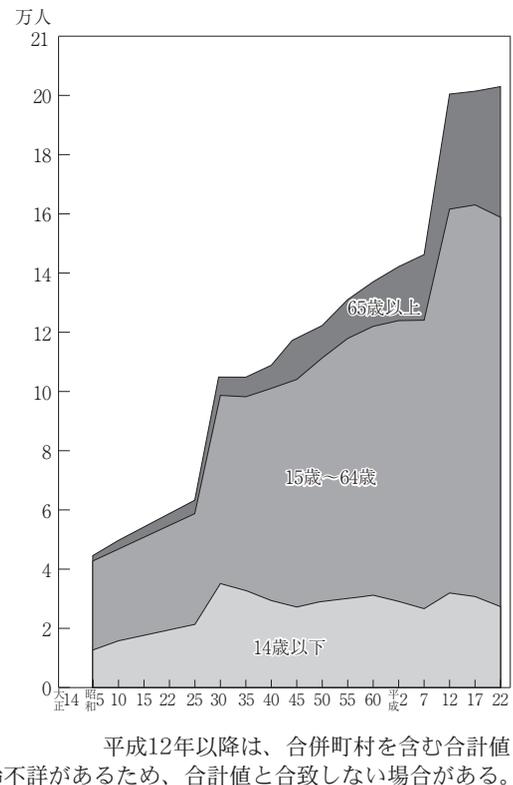
(ア) 総人口・世帯の推移「国勢調査」



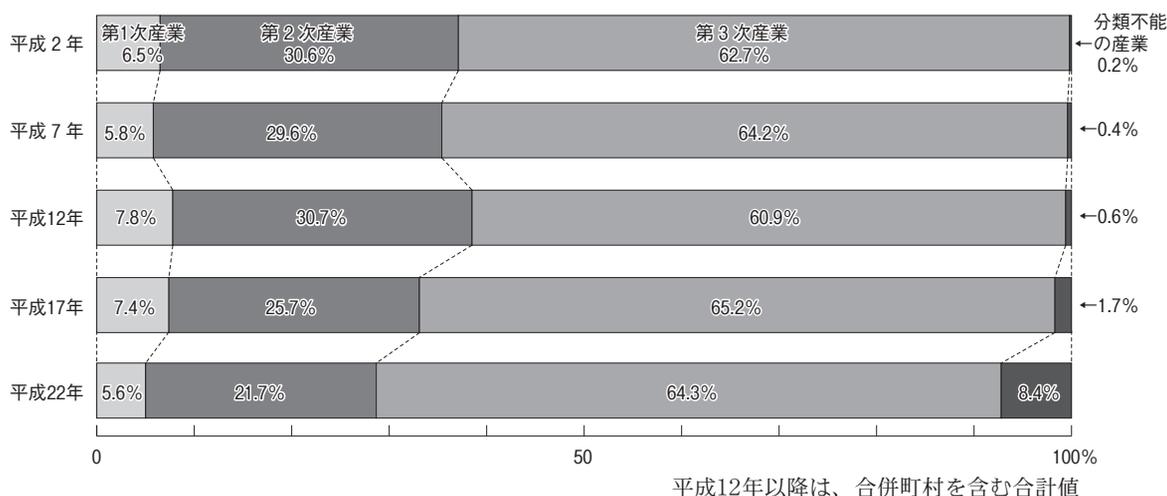
人口の推移 (大正14年～平成22年)



年齢（3区分）別人口の推移 (大正14年～平成22年)



(イ) 産業別就業者数の推移 [国勢調査]



(人)

区分		平成2年	7年	12年	17年	22年
就業者数		69,944	73,688	103,039	99,613	96,023
内訳	第1次産業	4,543	4,242	8,014	7,419	5,321
	農業	4,226	3,952	7,501	7,037	4,881
	林業	71	71	175	100	216
	漁業	246	219	338	282	224
	第2次産業	21,440	21,820	31,642	25,616	20,825
	鉱業	26	21	64	25	16
	建設業	5,643	7,088	11,519	9,655	7,136
	製造業	15,771	14,711	20,059	15,936	13,673
	第3次産業	43,844	47,339	62,754	64,934	61,790
	電気・ガス・熱供給・水道業	463	481	601	506	469
	運輸(通信)業	3,362	3,353	4,252	3,018	3,203
	情報通信業				1,280	1,338
	卸売・小売業(飲食店)	16,389	17,115	21,324	16,675	14,303
金融・保険業	2,836	2,762	3,077	2,706	2,724	
不動産業	414	494	558	682	1,022	
飲食店、宿泊業				4,704	5,026	
医療、福祉				9,720	11,393	
教育、学習支援業				5,769	5,567	
複合サービス業				1,548	770	
サービス業務	16,794	19,494	27,760	12,952	11,027	
公務	3,586	3,640	5,182	5,374	4,948	
分類不能の産業	117	287	629	1,644	8,087	

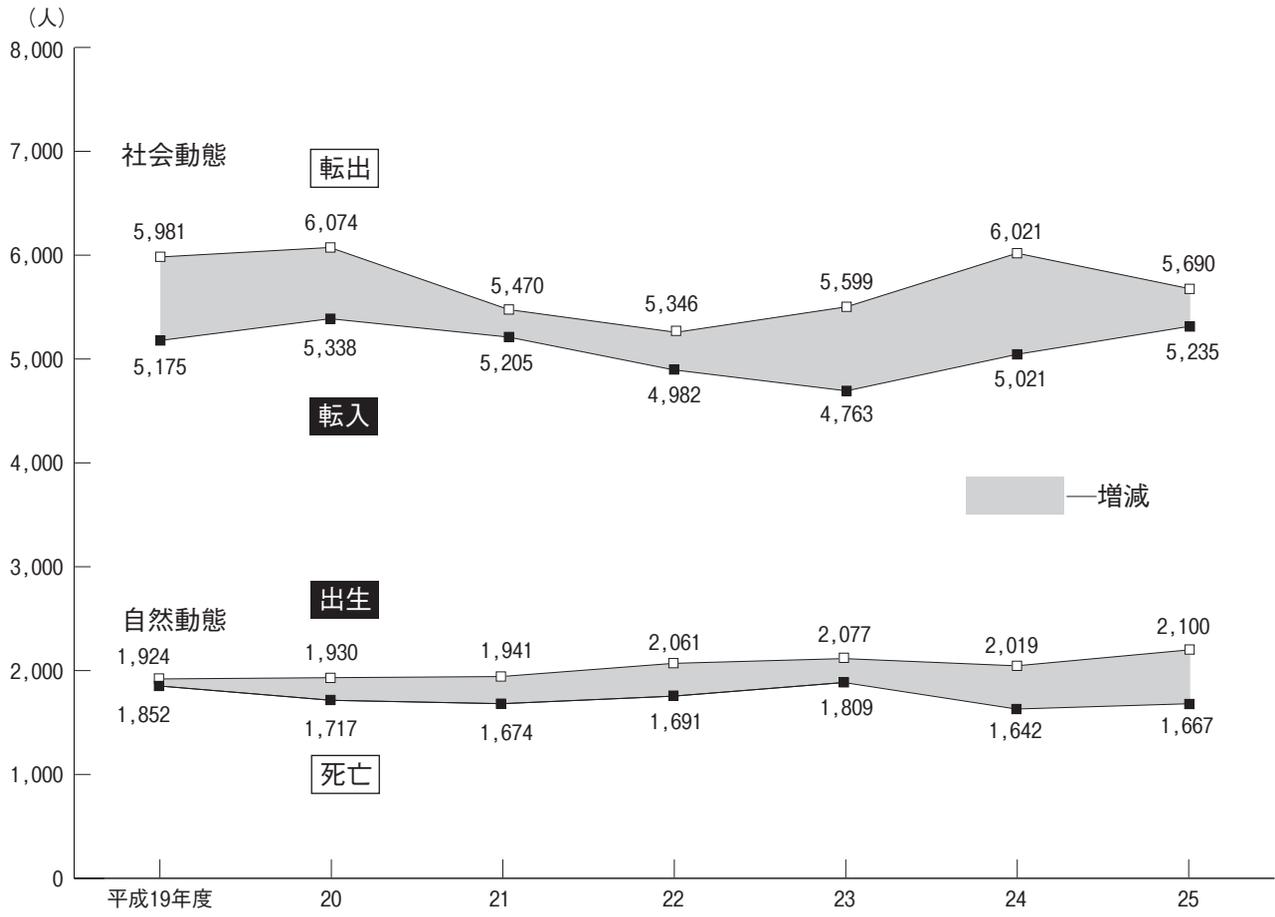
平成12年以降は、合併町村を含む合計値
平成17年国勢調査より産業分類再編

(ウ) 人口集中地区 (DID) [平成22年国勢調査]

区分	鳥取市	人口集中地区			準人口集中地区 (美萩野の一部 浜坂の一部 若葉台の一部)
		総数	I市街地 周辺	II賀露の一部 湖山の一部	
人口総数	197,449	99,472	81,745	17,727	12,093
面積 (km ²)	765.66	18.66	15.05	3.61	1.80

人口・面積は、合併町村を含む合計値

(工) 人口動態「住民登録」



(才) 人口推移「住民登録」

各年度3月末現在

年次	人口	増加数	増加数		世帯数
			自然増	社会増	
平成19年度	197,054	△ 878	△ 72	△ 806	74,249
20	196,110	△ 949	△ 213	△ 736	74,759
21	195,568	△ 532	△ 267	△ 265	75,496
22	194,871	△ 734	△ 370	△ 364	75,996
23	193,774	△ 1,104	△ 268	△ 836	76,225
24	193,582	△ 1,377	△ 377	△ 1,000	77,085
25	192,660	△ 888	△ 433	△ 455	77,578

(注) 平成24年7月以降は住民登録に外国人住民を含む。

(キ) 年次別人口・世帯数（明治22年～平成25年）

住民登録各年12月31日現在

年次	世帯数	総人口	男	女	年次	世帯数	総人口	男	女
明治22	5,975	27,898	13,652	14,246	昭和32	24,228	107,329	51,584	55,745
24	6,303	28,520	14,121	14,399	33	24,697	108,400	52,067	56,333
26	6,661	26,786	13,171	13,651	34	25,446	109,492	52,612	56,880
28	5,974	27,867	13,694	14,173	35	26,367	110,044	52,966	57,078
30	6,107	27,452	13,028	14,424	36	27,324	110,388	53,082	57,306
32	6,026	27,584	13,342	14,242	37	28,465	110,689	53,123	57,566
34	6,431	30,594	14,929	15,665	38	29,399	112,633	54,009	58,624
36	6,783	31,023	15,318	15,705	39	30,019	113,305	54,365	58,940
38	6,384	31,809	15,575	16,234	40	30,038	114,880	55,118	59,762
40	6,364	32,571	15,889	16,682	41	30,823	115,198	55,326	59,872
42	5,692	33,661	16,441	17,220	42	31,859	115,961	55,740	60,221
44	5,836	35,068	17,373	17,695	43	32,119	116,859	56,279	60,580
大正元	5,939	35,951	17,626	18,325	44	33,922	115,748	55,881	59,867
2	5,959	37,283	18,292	18,991	45	34,783	115,636	55,433	60,203
3	5,874	37,425	18,535	18,890	46	34,496	114,727	54,920	59,807
4	5,910	37,429	18,538	18,891	47	35,213	116,452	55,652	60,800
5	5,983	37,749	18,581	19,168	48	36,097	118,620	56,879	61,741
6	6,002	37,789	18,681	19,108	49	36,938	120,685	57,980	62,705
7	5,862	34,160	16,419	17,741	50	37,647	122,472	58,915	63,557
8	5,843	35,117	17,086	18,031	51	38,046	124,095	59,709	64,386
9	6,341	29,273	13,794	15,479	52	38,506	125,555	60,441	65,114
10	6,136	33,458	16,052	17,406	53	38,961	126,916	61,130	65,786
11	6,125	29,700	14,000	15,700	54	39,571	128,497	61,964	66,533
12	6,931	32,900	15,500	17,400	55	40,116	129,909	62,589	67,320
13	7,227	34,009	16,124	17,885	56	40,729	131,285	63,231	68,054
14	7,523	35,120	16,749	18,371	57	41,344	132,422	63,833	68,589
昭和元	7,089	38,770	18,831	19,939	58	41,617	133,191	64,313	68,878
2	7,325	38,977	18,876	20,101	59	42,515	135,274	65,683	69,591
3	7,440	39,028	18,881	20,147	60	43,224	136,444	66,235	70,209
4	7,620	40,108	19,594	20,514	61	43,921	137,571	66,849	70,722
5	7,884	37,189	18,080	19,109	62	44,601	138,441	67,240	71,201
6	7,977	40,274	19,730	20,544	63	45,400	139,855	67,943	71,912
7	8,240	41,845	20,621	21,224	平成元	46,186	140,973	68,444	72,529
8	8,990	46,690	22,963	23,727	2	46,948	142,026	68,864	73,162
9	9,145	46,748	22,968	23,780	3	47,658	142,860	69,154	73,706
10	9,225	46,854	23,089	23,765	4	48,129	143,422	69,401	74,021
11	9,234	46,948	22,978	23,970	5	48,737	144,318	69,749	74,569
12	9,967	50,356	24,333	26,023	6	49,327	144,931	70,073	74,858
13	9,877	50,280	23,981	26,299	7	50,143	145,757	70,488	75,269
14	9,963	50,686	23,893	26,793	8	50,815	146,346	70,760	75,586
15	10,071	49,261	23,058	26,203	9	51,682	146,900	71,055	75,845
16	10,463	48,177	22,048	26,129	10	52,580	147,686	71,384	76,302
17	10,505	49,401	22,101	27,300	11	53,242	147,996	71,531	76,465
18	9,856	44,427	20,043	24,384	12	54,252	148,857	72,004	76,853
19	10,193	45,449	20,554	24,895	13	55,050	149,281	72,296	76,985
20	11,300	51,848	23,361	28,487	14	55,883	149,770	72,509	77,261
21	11,672	53,158	24,297	28,861	15	71,521	200,358	69,621	103,737
22	12,761	57,218	26,895	30,323	16	72,449	200,532	96,836	103,696
23	13,069	58,340	27,510	30,830	17	72,969	199,734	96,423	103,311
24	13,706	60,876	29,525	31,351	18	74,030	199,382	96,212	103,170
25	13,788	61,721	29,295	32,426	19	74,687	198,577	95,769	102,808
26	14,202	62,687	29,760	32,927	20	74,982	197,216	95,107	102,109
27	14,268	63,044	29,820	33,224	21	75,700	196,647	94,761	101,886
28	20,879	98,520	47,396	51,124	22	76,241	195,946	94,548	101,398
29	21,728	101,783	49,041	52,742	23	76,647	195,139	94,116	101,023
30	21,616	104,880	50,724	54,156	24	77,580	195,248	94,084	101,164
31	23,279	106,145	51,064	55,081	25	77,816	193,894	93,453	100,441

平成15年以降は、合併市町村を含む合計値。